



# 進路だより

令和6年度

第6号

令和6年12月13日発行

渋川青翠高等学校 進路指導部

## ●● 進路体験記 ●●

今年度も、就職では様々な業種の企業から内定をいただくことができました。また、進学ではそれぞれの分野での合格報告が届いています。今回は事務職への就職と、デザイン関係の進学の進路体験記を掲載いたします。今後の進路実現に向けて参考にしてください。

### ① 就職 北群馬信用金庫 事務職 男子

私は高校入学時から進学ではなくて就職しようと思っていました。特にこれといってやりたいこともなかったのでビジネス系列で就職活動に有利になるような検定取得に尽力してきました。北群馬信用金庫に入庫しようと思ったのも3年生の夏休みに入ってからです。

求人票一覧から企業を選び会社見学に行き、見学後に北群馬信用金庫の選考試験を受けることを決めました。それからは北群馬信用金庫に入るために何が必要か考え、自分がどれだけ信用できる人間なのかを面接でアピールできるかが勝負だと思い、面接練習をたくさん練習しました。私は無遅刻無欠席と成績をアピールしました。選考試験にはSPIもありましたので事前に勉強をしました。私は「社会」以外は全部苦手科目だったので7月から9月までの間に中学校までの範囲を全体的に勉強してきました。

選考試験はSPI、作文、面接でした。SPIは漢字の読み書き、簡単な四則演算、社会関係の3項目で、漢字の読み書きも金融関係に関するもので「出納(すいとう)・そんしつ(損失)」といった問題でした。社会分野が難しく「GDP(国内総生産)・GNP(国民総生産)・公正取引委員会」といった問題が出題されました。漢字と社会はしっかりとやっておいたほうがいいと思います。面接は堅苦しいものではなく、面接官が3人でフラットな会話をしました。そのお陰で緊張せずに自分の言いたいことがしっかり言えたと思います。試験が終わった2週間後に内定通知が来ました。内定通知が来た時は安心しました。

1・2年生に進路決定を有利にするために伝えたいことが2つあります。1つ目は学校に来ることです。そして2つ目は勉強です。皆さんの中には勉強に苦手意識がある人もいます。しかし自分は勉強が苦手だからと勉強をしないのはもったいないです。やればやるだけ点数は取れます。私は中学生の頃の成績順位は下から数えたほうが早いぐらいの順位でしたが、高校では10番以内に入りましたので頑張ればきっと誰でもできると思います。

3年生になったら進学か就職か、進学の場合はどんな勉強をしたいのか、就職であればどんな職種の仕事をしたいのか決めるよう周りからは言われると思います。ですが夏休み後半までには時間があります。たくさん調べ、たくさん悩み自分の進路を決めていってください。

2・3年次 履修科目	
2年	文学国語 地理総合 歴史総合 物理基礎 地学基礎 体育 保健 英語コミュニケーションⅡ ビジネス基礎 簿記 情報処理 探究セミナー
3年	文学国語 体育 保健基礎 ビジネス・コミュニケーション マーケティング ビジネス法規 財務会計Ⅰ 原価計算 ソフトウェア活用 ネットワーク活用 総合研究

## ② 進学 中央情報大 学校 クリエイティブデザイン学科 女子

高校入学前まで私は進路のことや将来のことについては何も考えていませんでした。絵を描くことが好きだったので、デザイン系の学校に進学したいという考えもありましたが、家族に迷惑をかけたくなかったので高校卒業後は就職しようと思っていました。

考えが変わったのは1年次の「産業社会と人間」で実施した学校見学でした。進路について全く調べていなかった私にとって様々な学校を見学できるのはとても良い経験でした。その時に初めて中央情報大 学校という学校を知り、自身の進路と向き合うようになりました。

2年次の系列選択ではデザインするための基礎を身につけたいと思い、デザイン系列のCGコースを選択しました。初めはパソコンの操作が不慣れで思い通りにデザインを作成することが困難でしたが、毎日繰り返し作品を作り続けていくとだんだんとコツが掴め、2年次に作成した作品ではいくつか賞を取ることができました。また、実技科目だけではなく他の科目でも定期試験の点数や評定を下げないように一定に維持し、3年次の進路選択に活かせるように努力しました。2年次には家族に「デザイン系の学校に進学したい」と伝え、どんなことを学びたいのか、学費はどのくらいなのかと詳しいことを話し合いお互いが納得できるようにしました。3年生になった時に進路のことで家族の承認が取れていないと、慌てることになってしまえと思うので、できるだけ早く「自分はこうしたいんだ!」と意思表示をすることがお勧めです。

3年次まで高い評定を維持してきたこともあり、受験方法は奨学金免除がある公募制推薦で受験することができました。中央情報大 学校の合格の要となるのが一対一の面接だったため、面接練習に力を入れました。私は緊張すると言いたいことが言えなくなってしまうので、今まで作成してきた作品をポートレートとしてまとめ、実際に面接官に作品を見てもらうことにしました。本番の面接では作品について、お褒めの言葉を面接官からいただくことができました。

私は中学在学中、学校に行くことが嫌で欠席、早退、遅刻を繰り返すことがありました。もちろん高校に入っても嫌なことはありましたが、それ以上に勉強することが楽しくなりました。それは、教科書を書き写したり、ワークの問題を解き直したりという単純な勉強方法でしたが、やるたびにやった事が身についている気がして、勉強面において自信を持つことができました。定期試験は高得点を維持することは大変でしたがそれが目標となり、達成するための努力をするようになりました。

最後になりますが、良いところも悪いところもあつての自分です。それをどのように活かし伸ばせるかは自分の選択と行動次第です。適当でもいいです。雑でもいいです。自分自身が幸せになれる道を探し出してみてください。

2・3年次 履修科目	
2年	文学国語 地理総合 歴史総合 物理基礎 地学基礎 体育 保健 英語コミュニケーションⅡ 情報デザイン コンテンツの制作と発信 デザイン基礎 探究セミナー
3年	文学国語 日本史探究 政治・経済 数学セミナー 体育 デッサン 英語コミュニケーションⅢ 情報デザイン コンテンツの制作と発信 課題研究 構成 総合研究